

師走の風を受けて力走 — 町内駅伝競走大会 —

12月7日(日)、町内駅伝競走大会が田杭地区内から中央公民館までの、およそ11km・6区間のコースで開催されました。

田杭集会所前をスタートしたランナーらはタスキを繋ぎながら、阿尾の湿地帯を抜けて産湯海岸沿いを快走。小坂峠を越えて谷口地区の三叉路を過ぎ、公民館までを走り抜けました。

表彰式では「一般の部」「学生の部」「女子の部」「小学生の部」各部門の優勝チームや、区間賞の選手が表彰されました。

各部門の優勝チーム、区間賞受賞者は下記のとおりです。(敬称略)



【一般の部】優勝：荊木A 41分07秒
(東智也、新川恭平、白井信吾、中裏拓志、松本吉浩、星田恭平)
区間賞：1区/川瀬卓兒 2区/新川恭平 3区/千原英樹
4区/村田瑞起 5区/松本吉浩 6区/皿山友也
【学生の部】優勝：日高中学校陸上部 40分20秒
(玉置一茂、舩田隼、中村悦人、西岡佳祐、上田開世、阪本雅治)
区間賞：1区/玉置一茂 2区/舩田隼 3区/坂口透麻
4区/西岡佳祐 5区/上田開世 6区/楠本祐也

【女子の部】優勝：日高中学校駅伝部 44分01秒
(田村文乃、加藤里菜、土屋萌、深海舞羽、中野渚沙、川神茜音)
区間賞：1区/田村文乃 2区/加藤里菜 3区/土屋萌
4区/深海舞羽 5区/中野渚沙 6区/川神茜音
【小学生の部】優勝：日高ミニバスケットボールクラブA 44分43秒
(初井美海、初井優奈、大谷雛女、萩平隆也、坂口隆星、稲垣愛菜)
区間賞：1区/初井美海 2区/湯川史也 3区/土塚一輝
4区/萩平隆也 5区/濱口陸 6区/稲垣愛菜

先月号の記事に関する訂正とお願い
広報ひだか1月号、まちのわだいのコーナーの「デンマークとの友好」記事において、日高町ボランティア連絡協議会会長の氏名を、誤って表記いたしました。正しくは、「松本マリ子会長」です。関係されるみなさまには、大変ご迷惑をお掛けしました。



かるたと百人一首に挑戦！ — 新春子どもかるた会 —

1月7日(水)、新春カルタ会が中央公民館で開かれ、かるた愛好会(谷口弘子会長)の会員らと子どもたちが、かるたや百人一首など、昔ながらの遊びを楽しみました。

かるた会には、同会員4人と町内の小学生23人が参加。学年別で4つのグループに分かれた児童らは、いろはかるたと百人一首に挑戦。「灯台もと暗し」「背に腹は代えられぬ」などと読み上げられると、「はいっ！」と元気のいいかけ声で札を取っていました。

また百人一首では、子どもたちに分かりやすいように5色に色分けされた札を使用。「あさぼらけ～」や「花の色は～」などと読み上げられると、一生懸命に下の句が書かれた札を探していました。

社会保障・税番号制度

マイナンバーってどんな制度？

出典：内閣官房ホームページ内
社会保障・税番号制度ページ

期待される3つの効果

1 つめは、所得や他の行政サービスの受給状況を把握しやすくなるため、負担を不当に免れることや給付を不正に受けることを防止するとともに、本来に困っている方にきめ細かな支援を行えるようになります。

(公平・公正な社会の実現)

2 つめは、添付書類の削減など、行政手続が簡素化され、国民の負担が軽減されます。また、行政機関が持っている自分の情報を確認したり、行政機関から様々なサービスのお知らせを受け取ったりできるようになります。

(国民の利便性の向上)

3 つめは、行政機関や地方公共団体などで、様々な情報の照合、転記、入力などに要している時間や労力が大幅に削減されます。複数の業務の間での連携が進み、作業の重複などの無駄が削減されるようになります。

(行政の効率化)

マイナンバーって何？
何のために導入されるの？

マイナンバーは、住民票を有する全ての方に1人1つの番号を付して、社会保障、税、災害対策の分野で効率的に情報を管理し、複数の機関に存在する個人の情報が同一人の情報であることを確認するために活用されるものです。

マイナンバーは、行政を効率化し、国民の利便性を高め、公平かつ公正な社会を実現する社会基盤であり、期待される効果としては、大きく3つあげられます。

